

科目名	卒業研究	英語科目名	Graduation Research & Diploma Design		
開講年度・学期	平成 26 年・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科・5年		
授業形態	実験実習	必修 or 選択	必修		
単位数	13 単位	単位種類	履修単位 390h		
担当教員	建築学科全教員	居室(もしくは所属)	建築棟 1-3 階各教員室		
電話	建築学科全教員	E-mail	建築学科全教員		
授業の到達目標	授業到達目標との対応				
		小山高専の教育方針	学習・教育目 標 (JABEE)	JABEE 基準要件	
	1. 各自が企画し、調査・研究を進め、かつ計画的に実行できる。	④	OB	d-3	
	2. 問題点の把握、解決方法が理解でき、論文や設計に盛り込める。	④	OB	d-3	
3. 最終発表までを各自の責任で実行できる。	④	E	f		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
到達目標1～3の観点について、卒業研究中間発表会、最終発表会において60%以上の成績で評価する。					
評価方法					
1. 各研究室のゼミ、中間発表、最終発表、卒業研究の内容(本論、梗概)により指導教員が評価を行う(60%)。					
2. 中間発表、最終発表は全教員が審査する(40%)。					
授業内容					
高専教育の集大成というべき科目で、学生は各研究室に配属され、教員の指導の下に、個人あるいはグループで特定の課題について研究を行う。研究室によっては卒業設計にて研究に代える場合や、卒業研究と卒業設計の両方を行う場合もある。					
1. 研究室において学生の適性と希望に応じ、テーマに応じて個別の指導がなされる。					
2. 基本的には学生自身が計画を立てて、研究を進めることになる。					
3. テーマにより、実験、解析、調査、フィールドワーク、設計など多様な内容になる。					
4. 中間発表、最終梗概、論文本論の提出、研究発表が義務づけられている。					
【前期】			【後期】		
キーワード	建築、研究、論文、発表				
教科書					
参考書	建築学科すべての授業科目の教科書、参考書				
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目	全科目				
現学年の関連科目	全科目				
次年度以降の関連科目	—				
連絡事項					
1. 4年次に研究室紹介があり、研究室の教員が適宜個別に相談に応じる。					
2. 毎年学年末に行われる先輩の研究発表は必ず聴講すること。					
3. 5年間で学んだことを基に、各学生の実力を十分に発揮して欲しい。					
4. テーマは本人の希望と能力により異なるので、指導教員とよく相談し、指導に従うことが重要となる。					
5. 教科書にない事柄に自ら1年間かけて取組む過程を通して、社会で求められる力を身につけて欲しい。					
シラバス作成年月日	平成 26 年 2 月 18 日				